

# TOKYU MALLS DEVELOPMENT

Sustainability report  
2023-2024

# MESSAGE

東急モールズデベロップメントでは、  
発足以来、ショッピングセンターをご利用下さるお客さま、  
日頃から地域で支えていただいている皆さま、  
ともに働くスタッフ・お取引先の皆さまとともに、  
豊かな暮らしの実現とその基盤となる街づくりに取り組んでまいりました。

一方で、近年の地球規模の課題として、これまでの自然環境・気候や社会・経済の大きな変化と、  
そこから引き起こされる様々な事象が挙げられますが、日々の暮らしや街づくりへの影響も年々深刻なもの  
になりつつあります。

そのような影響を少しでも抑制し、より良い未来を創造するために、当社が行うサステナブルな活動を  
“Tokyu Malls Development Sustainability Action” と題し、ショッピングセンターをプラットフォーム（基盤）  
とした各種活動を全社横断的に推進しております。

日々の暮らしにおける新たな発見、体験や学びのきっかけ作り、環境保護や社会貢献に関する啓発活動を通して  
皆さまとともにサステナブル（持続可能）な社会の実現を目指してまいります。

本資料では、その活動のダイジェストをご紹介します、SDGsを念頭に置いた当社のサステナブルな取り組みについて  
理解を深めていただく好機となれば幸いです。

— 01 サステナビリティへの取り組み

---

— 02 TMD SDGs プロジェクト

---

— 03 ESG の取り組み

## “Tokyu Malls Development Sustainability Action” とは？

“Tokyu Malls Development Sustainability Action”  
とはTMDが行うサステナブルな活動の総称です。

2023年5月より、当社が行うサステナビリティ活動を  
紹介するウェブサイトを作成し発信しています。

この発信により、サステナブルな活動を通して地域  
のお客さま・事業パートナーの皆さまとのコミュニ  
ケーションや共創の機会を増やし、共に社会課題の  
解決に取り組み、地域の魅力向上とサステナブルな  
社会の実現に貢献します。





## “Tokyu Malls Development Sustainability Action”

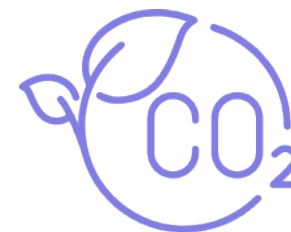
### 取り組みテーマ



子どもの笑顔を  
つくる



循環型社会の  
実現



脱炭素社会の  
推進

## 子どもの笑顔をつくる

### キッズスタッフイベント（小学生おしごと体験）

コロナ禍により4年ぶりの開催となった2023年は、ご出店者さまおよび施設警備や館内物流、インフォメーション、さらに東急線各駅や近隣の公共施設にご協力いただき、197枠・約550名の小学生がおしごと体験をし、小学生が将来の夢を考える機会を創出しました。

（実施期間：2023年7月～8月）

#### 実施10施設名

二子玉川ライズ S.C.

グランベリーパーク

青葉台東急スクエア

みなとみらい東急スクエア

エトモ中央林間

たまプラーザ テラス

港北 TOKYU S.C.

武蔵小杉東急スクエア

中央林間東急スクエア

あざみ野ガーデンズ



キッズスタッフイベントキービジュアル



各施設でのキッズスタッフイベントの様子

## 循環型社会の実現

### 「Kuradashi」初の常設店舗 OPEN

(たまプラーザ テラス)

「Kuradashi」が、2023年5月に初の常設店舗をたまプラーザ テラスに出店。

2023年6月の環境月間、10月の食品ロス削減月間には、たまプラーザ テラスと「Kuradashi」が共創し、フードロス削減意識の醸成を目的にしたイベントを実施しました。

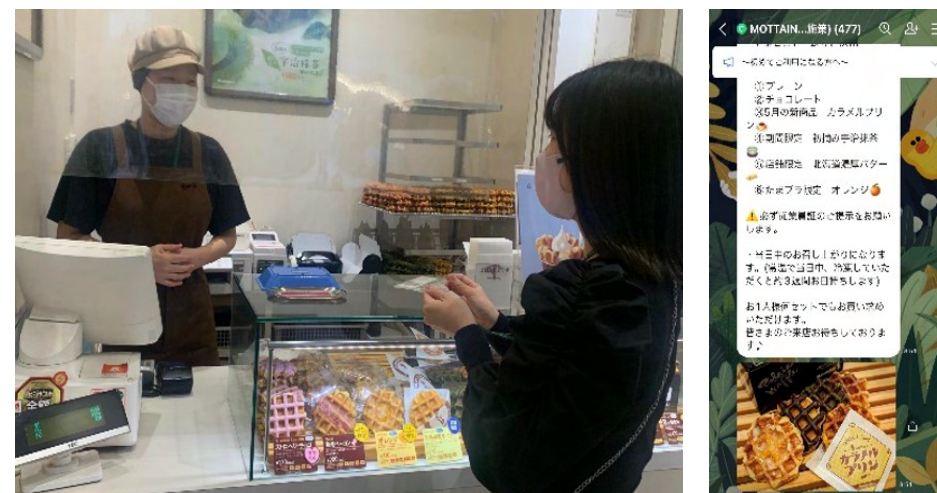


### MOTTAINAI テラス・MOTTAINAI パーク

(たまプラーザ テラス・グランベリーパーク)

「MOTTAINAI テラス」は、たまプラーザ テラスで実施している施設で働く従業員に向けて、LINEのオープンチャットを活用し、消費期限間近となった商品を告知し販売することで、フードロスを削減する活動です。

2021年から実施し、年間約 510 キロのフードロスなどの削減に寄与。グランベリーパークでも「MOTTAINAI パーク」として2023年2月から実施しています。





## 脱炭素社会の推進

### J-クレジット制度の活用によるカーボンオフセット

2023年度冬季クリスマスイルミネーションで使用する電力は、J-クレジット制度を利用したカーボンオフセットを実施しました。

CO2排出をオフセット（相殺）することで、間接的に再生可能エネルギーの利用促進に貢献します。



#### 参加6施設

たまプラーザ テラス

グランベリーパーク

港北 TOKYU S.C.

青葉台東急スクエア

武蔵小杉東急スクエア

みなとみらい東急スクエア

### 廃食用油の活用（みなとみらい東急スクエア）

家庭や店舗などで発生する使用済み食用油（廃食用油）を原料とする SAF（Sustainable Aviation Fuel）で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「FRY to FLY Project」に2024年4月より参画。

みなとみらい東急スクエアの飲食店舗9店舗から排出される廃食用油の

提供に加え、取り組みについて発信することで、脱炭素社会の推進と循環型社会の実現を目指します。

#### FRY to FLY Project



Photo by Tatsuya Tanaka

## 地域共創

### 地域共創プロジェクト FIND LOCAL



「FIND LOCAL」は、そのまちに暮らす皆さまや地域事業者、行政と共に「地域の魅力を見つけ、集め、発信する」アクションです。

2023年10月には、横浜市青葉区に所在するたまプラーザテラス、青葉台東急スクエアの2施設で、地域で生まれた魅力に出会える場をテーマに「FIND LOCAL FES 2023」を開催。幅広い地域コンテンツを集め、青葉区周辺の約60の団体と地域のイベントを創り上げました。





— 01 サステナビリティへの取り組み

---

— 02 TMD SDGs プロジェクト

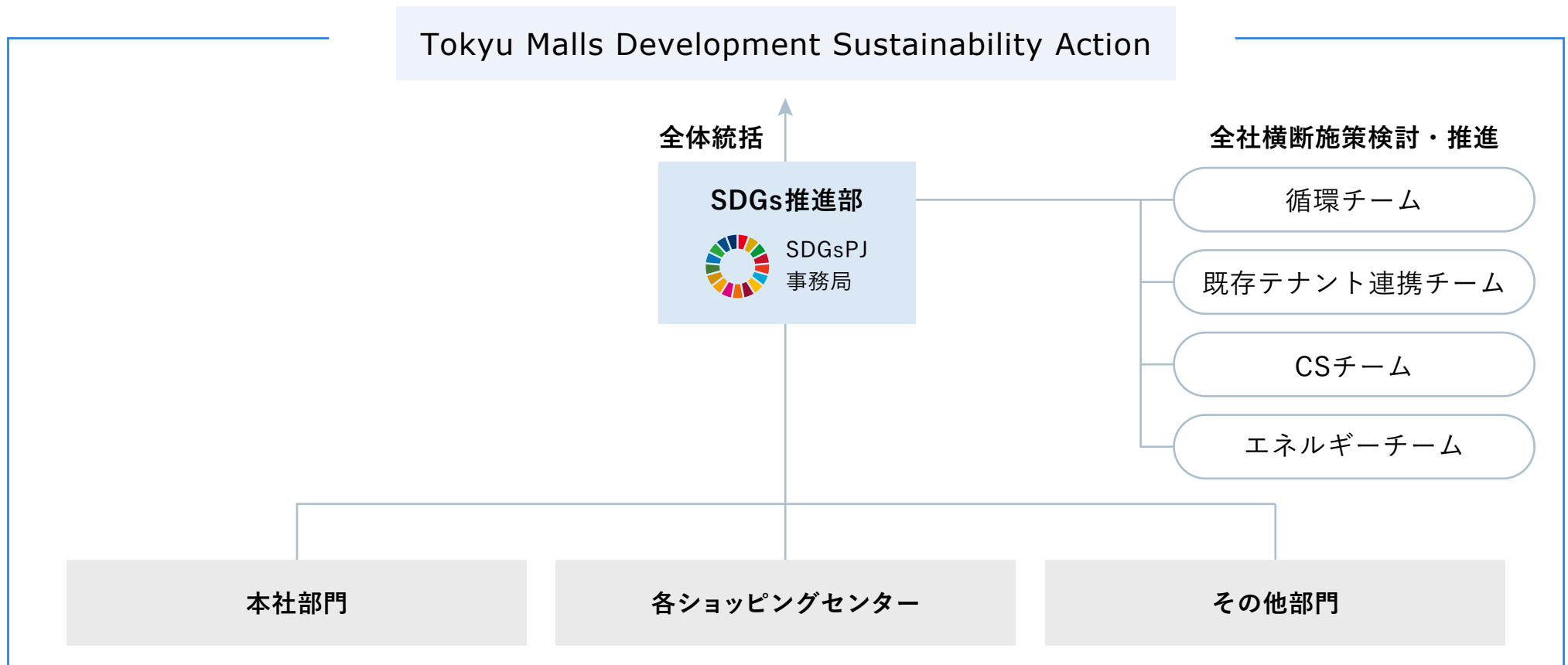
---

— 03 ESG の取り組み

## TMD SDGsプロジェクト体制（全社横断PJ）

有志社員で組成され、全社横断で実行しているTMD SDGsプロジェクトは、2021年から始まり今年で4年目となりました。

TMDのSDGsをどのように推進すべきかといった活動テーマの検討からスタートし、チームでの分科会活動に発展。現在は、各分科会メンバーが主体となってそれぞれの施策を推進するとともに、外部施設の視察や研修を受講し、SDGsに関する知見を深めています。



## TMD SDGs プロジェクト これまでのあゆみ

全社横断の有志社員によるSDGs分科会活動を継続実施



「食品ロス削減活動 MOTTAINAI テラス」スタート



Tokyu Malls Development Sustainability Action 始動

2021年

2022年

2023年

2024年

プロジェクト始動  
分科会活動スタート



Webサイト「こそだてプラス」公開



「キッズスタッフイベント」を4年ぶりに開催



外部視察風景



全体研修風景



SDGsプロジェクトメンバー

— 01 サステナビリティへの取り組み

---

— 02 TMD SDGs プロジェクト

---

— 03 ESG の取り組み

## Environment (環境)

「南町田グランベリーパーク」では、使用する電力を100%再生可能エネルギーとし「地球環境と共存する都市」へと進化する東急グループのまちづくりに寄与しています。

その他のSCにおいても、順次導入する計画を進めています。



## Social (社会)



女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」3つ星の取得(2023年9月)や、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定を取得(2023年8月)。

従業員が生活と仕事を両立しながら、生き生きと働き続けられる職場の実現に向け優れた取り組みを実施している企業として「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業」に選定(2023年2月)されました。

## Governance (ガバナンス)

定期的にリスク軽減への取り組み状況の評価を行い、リスク発生時の影響度減少に努めています。

特に大規模地震などの災害リスクに関しては、事業の継続・迅速な復旧を目的に、各種訓練を実施しています。



たまプラーザテラスでの帰宅困難者受け入れ訓練(2024年3月)



## 2023年度 エネルギー・資源使用実績

当社では、エネルギー資源使用実績を把握し、減量や再資源化に努めています。

### 対象事業所(9箇所)

たまプラーザ テラス

港北 TOKYU S.C.

青葉台東急スクエア

武蔵小杉東急スクエア

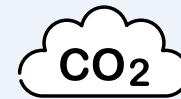
五反田東急スクエア

中央林間東急スクエア

東急スクエア ガーデンサイト

あざみ野三規庭

VeLeV



総CO2排出量(エネルギー起源)  
**11,500t** (2022年度比: 90.6%)



上水道使用量  
**166,000m<sup>3</sup>** (同: 68.7%)



産業廃棄物量  
**263,000t** (同: 98.5%)










紙資源(OA用紙※)使用量  
※A4サイズ換算  
**327,000枚** (同: 90.8%)


## ESG 関連方針

当社は東急(株)グループの一員として以下の方針に基づき行動します。

東急(株)グループ ESG 関連方針 (外部リンク) ※新規ウィンドウで開きます

---

- › [サステナブルなサプライチェーン方針](#) 
- › [安全基本方針](#) 
- › [アルコール販売および加工食品と飲料の販売に関する声明](#) 
- › [人権方針](#) 
- › [腐敗行為防止方針](#) 
- › [税務方針](#) 
- › [環境方針](#) 



Tokyu Malls Development

TOKYU  
MALLS  
DEVELOPMENT

Sustainability report  
2023-2024

サステナビリティレポート  
2024年9月発行